

CASBEE Sapporo2014v1.2
イリーゼ定山溪Ⅱ号館

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	竣工段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質											
Q1 室内環境											
1 音環境											
1.1 騒音											
NC-NR=35~40程度											
1.2 遮音											
1 開口部遮音性能											
2 界壁遮音性能											
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)											
4 界床遮音性能(重量衝撃源)											
1.3 吸音											
2 温熱環境											
2.1 室温制御											
1 室温											
2 外皮性能											
3 ゾーン別制御性											
2.2 湿度制御											
2.3 空調方式											
3 光・視環境											
3.1 昼光利用											
1 昼光率											
2 方位別開口											
3 昼光利用設備											
3.2 グレア対策											
1 昼光制御											
2 眩り・光害対策											
3.3 照度											
3.4 照明制御											
2.5%以上											
4 空気環境											
4.1 発生源対策											
1 化学汚染物質											
2 物理汚染物質											
4.2 換気											
1 換気量											
2 自然換気性能											
3 取り入れ外気への配慮											
4.3 運用管理											
1 CO ₂ の監視											
2 喫煙の制御											
館内禁煙											
Q2 サービス性能											
1 機能性											
1.1 機能性・使いやすさ											
1 広さ・収納性											
2 高度情報通信設備対応											
3 バリアフリー計画											
1.2 心理性・快適性											
1 広さ感・景観											
2 リフレッシュスペース											
3 内装計画											
1.3 維持管理											
1 維持管理に配慮した設計											
2 維持管理用機能の確保											
3 衛生管理業務											
2 耐用性・信頼性											
2.1 耐震・免震											
1 耐震性											
2 免震・制振性能											
2.2 部品・部材の耐用年数											
1 躯体材料の耐用年数											
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔											
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔											
4 空調換気ダクトの更新必要間隔											
5 空調・給排水配管の更新必要間隔											
6 主要設備機器の更新必要間隔											
2.4 信頼性											
1 空調・換気設備											
2 給排水・衛生設備											
3 電気設備											
4 機械・配管支持方法											
5 通信・情報設備											
3 対応性・更新性											
3.1 空間のゆとり											
1 階高のゆとり											
2 空間の形状・自由さ											
3.2 荷重のゆとり											
3.3 設備の更新性											
1 空調配管の更新性											
2 給排水管の更新性											
3 電気配線の更新性											
4 通信配線の更新性											
5 設備機器の更新性											
6 バックアップスペースの確保											

CASBEE Sapporo2014v1.2 イリーゼ定山溪Ⅱ号館		重点評価項目		A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理	
スコアシート	竣工段階	重点評価項目		環境配慮設計の概要記入欄							
配慮項目		A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	-	3.6
1 生物環境の保全と創出				C		3.0	0.30				3.0
2 まちなみ・景観への配慮				C		5.0	0.40				5.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30				2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					D	3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上			B	C		2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		A				4.0	0.20				4.0
2 自然エネルギー利用		A				3.0	0.10				3.0
3 設備システムの高効率化						4.0	0.50				4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		A				4.0	1.00				
集合住宅の評価(3c)		A									
4 効率的運用						3.0	0.20				3.0
集合住宅以外の評価						3.0	1.00				
4.1 モニタリング		A				3.0	0.50				
4.2 運用管理体制		A				3.0	0.50				
集合住宅の評価											
4.1 モニタリング		A									
4.2 運用管理体制		A									
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	-	2.5
1 水資源保護						3.0	0.20				3.0
1.1 節水						3.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70				
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減						2.4	0.60				2.4
2.1 材料使用量の削減			B			2.0	0.10				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			B			3.0	0.20				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			B			3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			B			1.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			B			2.0	0.10				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			B			3.0	0.20				
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.3	0.20				2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避						2.0	0.70				
1 消火剤			B			2.0	0.33				
2 発泡剤(断熱材等)			B			2.0	0.33				
3 冷媒			B			2.0	0.33				
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			B			3.8	0.33				3.8
2 地域環境への配慮						2.5	0.33				2.5
2.1 大気汚染防止			B			5.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			B	C	D	1.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.3	0.25				
1 雨水排水負荷低減			B			-	-				
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.33				
3 交通負荷抑制						4.0	0.33				
4 廃棄物処理負荷抑制			B		D	3.0	0.33				
3 周辺環境への配慮						2.5	0.33				2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.6	0.40				
1 騒音						5.0	0.33				
2 振動						3.0	0.33				
3 悪臭						3.0	0.33				
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						1.6	0.40				
1 風害の抑制						1.0	0.70				
2 砂塵の抑制											
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30				
3.3 光害の抑制						2.3	0.20				
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策						2.0	0.70				
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30				